

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立朝日小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒920-0114
石川県金沢市加賀朝日町木33

E-mail : asahi-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://www.kanazawa-city.ed.jp/asahi-e/

児童生徒数：男子 6 名 女子 0 名 合計 6 名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、地域の自然や人々と関わり合いながら、地域の農産物（3年）・地域の環境問題（4年）・生態系（5年）・エネルギー問題（6年）をテーマに、総合的な学

習の時間を中心として持続発展教育に取り組んでいる。極小規模校故に、地域の人々や他校との交流を通して、自主的に学び続ける力や広い視野で考える力、さらには表現力を身につけながら、児童がたくましく心豊かに成長することをねらいとしている。本年度は、3、4年生の在籍が無いため、5、6年生の活動のみ行った。

5年「朝日の鳥」

山間部にある朝日校区は、豊かな自然にめぐまれている。児童にとって豊かな自然とは、みどりが多いというイメージでしかない。本単元の学習を通して、本当の自然の豊かさを理解させたいと考えた。

今年度は、巣箱を覗くことから取組をスタートさせた。巣箱は、前年度、愛鳥モデル校の取組として製作し、学校の近くの竹林や畑に置かせていただいていたものである。しかし、卵は産んであるものの、親鳥の姿がなく、調べた結果放置状態であることがわかった。そこで、野鳥探索を始めることになった。普段は、何気なく聞いている鳥のさえずりなどを

注意深く聞くことで、多くの種類の野鳥が生息していること、しかし、なかなか姿を見られないことを実感した。自然の中にありながら、ほとんど自然を意識したことのない児童であったが、屋外で五感を働かせながら活動することで、自然というものに真に触れる体験ができた。野鳥探索で見かけた鳥について、図鑑等で調べ学習を始め、その上で、「なぜ、こんなにも多種の野鳥が生息しているのか。」という課題で追求を始めた。その結果、朝日校区は、森林も、草原も、池も、田畑も、人家もあり、様々な自然環境のもと、えさとなる多様な生物がいるからこそ、野鳥の種類が多いことに気が付いた。豊かな自然とは、多様な生物が、バランスを持って、存在していることであることを理解し、そんな校区に対して、愛着を深めることができた。

12月の学習発表会では、朝日地区の自然の豊かさを地域や保護者の方へ発信することができた。また、発信することによって、このようなすばらしい環境に恵まれているということを実感し、地域の自然を大切にしたいという思いをもつことができた。

学習発表会での児童のプレゼンテーション資料



6年「朝日の竹とエネルギー問題」

今年度は、昨年度の6年生の竹を利用した自家発電の取組を受け、「朝日の竹を宝物に シーズン2」と題して、竹を利用した多様な発電方法を実際に実験して確かめることとなった。

朝日校区は、管理者の高齢化と経済的採算が合わないことから、放置され荒れた竹林がたくさん見られる。原発の再稼働問題が騒がれている今日、その竹を利用した発電によって電力の確保ができればエネルギー問題、竹林の荒廃、二つの問題の解決に役立つのではないかと児童は考えた。火力発電や風力発電の原理を応用し、「方法を考え、実験し、失敗の原因を考え、また試す」ことを繰り返した。児童は、教師の助けを借りながら実験を繰り返す中で、原因を考えることや、

学習発表会での児童のプレゼンテーション資料



